

# 八幡台二区だより

平成 28 年 6 月発行  
八幡台二区自治会  
広報部

## ご挨拶



自治会長 島田 寛 (九組)

平成二十八年度の自治会長を務めることになりました島田です。これから一年間、微力ながら自治会の運営に努めたいと思いますので、会員皆さんの一層のご指導、ご協力をお願いいたします。

自治会では地域の生活環境を維持し、安全で安心な住みよい街づくりのため活動を続けています。しかし、熊本地震のような大地震がいつ襲ってくるかもわかりません。危機意識を持っていろいろな事態に備えていく必要があります。

家の補強や家具の転倒防止は大丈夫ですか。飲料水や食料の備蓄はできていますか。真つ暗な状態でも逃げられる備えはできていますか。当自治会の「防災対応マニュアル」にもいろいろ謳われておりますが、災害から自分や家族の命を守るため何が必要なのか、今一度よく考えていただきたいと思いません。

災害発生直後に、いち早く安否の確認をして助け合うことが出来るのは近隣の人たちだけです。このように、隣近所の人たちがお互いに協力し合って救助活動に取り組むためには、日ごろから近所同士のつきあいを大切にし、お互いをよく知っておくことが重要です。近所同士の見守りや支え合う力は、地域の防災・減災だけでなく、被災後の防犯にもつながります。

地震の事前の備えとして、耐震化と火災対策も重

要です。一九二三年の関東大震災では、十万人超の死者の九割近くは火災が原因とされています。

一方、阪神淡路大震災では、建物火災の六割が住民の避難後に停電が復旧し、スイッチを切り忘れた電気器具などから出火するといった「通電火災」によるものでした。

また、東日本大震災で発生した揺れによる火災のほぼ半数が電気器具や配電盤から出火する「電気火災」でした。

火災が発生した場合には近隣へ延焼し大きな被害につながる恐れがあります。地震による火災を減らすためには、火災原因の過半数を占める電気関係の出火を防ぐことが大事です。本年三月に改定された国の施策でも、出火防止対策として、地震を感じると自動的に電気を止める「感震ブレーカー」を各住宅に設置することを推奨しています。災害に強いまちづくりを目指し、当地域全体で、この装置の普及を図っていきたいと思います。

最後になりますが、大規模な災害が起きたときは、評議委員だけではあらゆる事態に対応することは困難です。安否確認、救出救援、災害弱者避難支援、情報の伝達など、会員皆で役割分担して対応する必要がありますので、ご協力をお願いいたします。

## 自然災害に思いつくこと

副会長

小林 (十三組)  
小林 (十六組)



早いもので、八幡台二区に住居を構えて今年で三十八年目を迎えました。恵まれた自然環境の中で大きな災害に遭遇することもなく、生活できる事は、常日頃の自治活動の賜物と感じています。

しかしながら地震多発国の日本は阪神大震災、東日本大震災、最近では熊本地震と、立て続きに大きな災害が発生し、そのつど、想定外だったという言葉、何度となく聞かれました。県市区町村でも対策はたてているはずですが、改めて自然相手の行動の難しさを考えさせられた次第です。

台風も災害をもたらしていますが、私はこれからおこるかもしれない、熊本クラスの地震の対策について、考えてみたいと思います。地震発生時に、どこにいるかということ、何時頃発生ということでも、各人の対策はちがってきますから、いちがいにこれが対策だとは言いきれませんが、つまるところ、一人一人が、常に防災意識をもって行動することが大切ではないかと思えます。

自治会として地震発生を予測して被害を最小限に抑えるために、先に行動するというのは不可能ですが、発生後には関係省庁の情報のもとに、自治会内の家屋倒壊や、行方不明者、負傷者の状況をつかみ避難場所へ誘導することはできると思いますが、私達評議委員がまとめ役となつて、日頃から自治最小単位の自分の組の実態(一人暮らし、空き家など含めて)を把握しておくことが、近隣住民の助け合い、共助共生につながるのではと思います。個人情報管理など、厄介な問題がある昨今ですが、皆様のご意見、提案等に耳を傾けながら、お役に立てることができれば幸いです。

二区の皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。

## 会計係より

石井 (一組) 沼澤 (二十三組)



平成二十八年度の会計を担当させていただきました。先日は、上半期自治会費、寄付金へのご協力ありがとうございました。

寄付金は社会福祉協議会に納付しました。  
総額は次の通りです。

日本赤十字寄付金 七万三千八百円

社会福祉協議会会費 七万二千五百円

不慣れでご迷惑おかけする場合がありますが、皆様からお預かりした大切な自治会費が各方面において有効に活用できるように一年間務めさせていただきます

ご指導、ご協力宜しくお願い致します。

### 広報係より



星(三組) 加藤(二組)

浅野(十組)

平成二十八年度の広報を三名で担当させていただきました。

自治会の様々な行事・活動を記録し、八幡台二区だよりの発行を通して、お伝えできればと思います。二区だよりに掲載したい記事などありましたら、お近くの評議委員さんを通じてお知らせください。一年間よろしくお願い致します。

### 保健体育係より



細屋(八組) 西川(二十二組)

古住(十二組) 笠原(十九組)

今年度、私達四名で保健体育委員を担当させていただきます。

自治会、竹園学区体力づくり振興会、市及び南公民館共催事業等の各行事があります。

これらに参加していただき、心地よい汗をかいて「運動することの楽しさ、健康であることの幸せ」を感じていただけたら！と思います。

怪我の予防のために三つのステップ「準備運動↓本番↓整理体操」を実行すべきと思います。会員皆様のお力をお借りして、なんとか一年間をのりこえたいと思います。

ご指導、ご協力のほどよろしくお願い致します。

### 防犯防火係より



内海(六組) 中原(四組)

小栗(二十組) 稲森(二十一組)

四月十六日に発生した熊本大地震にここからお見舞い申し上げます。昨年九月に発生した関東・東北大豪雨も記憶に新しい所です。天災に対して非常食の準備や家族集合場所の確認など、日頃からの備えておきたいものです。

警察署が発行する「八幡台だより」には、痴漢、不審者、空き巣、置き引きなどの被害が毎月のように掲載されます。振り込め詐欺被害は年間五百億にものぼります。日頃の生活の中で防犯を意識することは少ないかもしれませんが、危機意識の欠如こそ思わぬ事件・事故に巻き込まれる要因かもしれません。自戒の念を込めて。

今年度も自主防火訓練を行う予定です。振るってご参加ください。八幡台公園の防火倉庫の点検・管理を、前年度部長に協力いただきながら二ヶ月に一度実施します。防犯パトロールを毎月第三金曜日二十時に八幡台交番前に集合して実施しています。こちらも多くの人の参加をお待ちしています。

### 福利厚生係より



若尾(五組) 山田(十七組)

今年も主な行事として、敬老の日の記念品配布、親睦会と例年同様の行事を予定しています。その他に、本年は地域の交流をかね高齢者の体力維持と認知予防の運動をぜひ進めてほしいとのご意見がありましたので、市と自治会の協力を得ながら進めていきたいと思致します。

### 環境衛生係より



高橋(十四組) 神保(十一組)  
秋田(十五組) 下屋敷(十八組)

環境衛生係を今年一年間務めさせていただきます。4名です。どうぞ宜しくお願い致します。環境衛生係とは何をすれば良いのだろうかと思ひながら考えてみました。公共の道路や公園などを、地域の人が気持ちよく利用出来る為のお手伝いと思致します。

私達役員4名で、月二回の二ヶ所の公園清掃を行うって感じたことは、どんなに役員が努力しても、公園や道路を利用される方々の協力が無い限りきれいな状態を保つことは困難です。公園を利用される方のゴミ、タバコの吸い殻、ペットボトルなどの持ち帰り、又ペットの散歩をされている方の排泄物の後始末など、公園や道路を気持ち良く使用できる様、どうぞ皆様の御協力宜しくお願い致します。



平成二十八年年度 評議員メンバーです  
どうぞよろしくお願い致します。



星 (撮影)

神保	小栗	板倉	阿部	内海	中原	浅野	石井	沼澤
笠原	稲森	秋田	山田				下屋敷	古住
								西川
若尾	高橋	細屋	島田	小林	加藤			

子ども会より



坂倉(二十二組) 齊藤(二十二組)  
内藤(十六組)

今年度役員を務めさせていただきました坂倉、齊藤、内藤です。自治会の皆様には、日頃より子ども会へのご理解、ご支援を賜り感謝しています。

ここ数年子ども会会員数は減少しており、昨年今後について意見交換、話し合いを行いました。そして、竹園小学校子ども会は本年度をもって終了し、来年度からは自治会の皆様と一緒に活動していく自治会の中の子どもサークルとし、子ども達中心に活動を行う会として継続していくこととなりました。

地域の活動を通し皆様との世代を越えた多くの交流が生まれることを願い、子ども達と一緒に頑張っていきたいと思います。今後より一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

訃報

十六組 船越 正夫様  
二十一組 小川 規那夫様